

GTP Seminar



リピッドコード脂質多様性と病態シグナチュア

～疾患・臓器を超えたアンチセントラルドグマ的脂質研究～

島野先生は、脂質合成転写因子である Sterol regulatory-element binding proteins (SREBPs) の研究を続けてこられていますが、その新規標的遺伝子の探索過程において、炭素数 12-16 の飽和・一価不飽和脂肪酸を基質とする脂肪酸伸長酵素 Elovl6 のクローニングに成功されています (Matsuzaka T et al. J Lipid Res, 2002)。さらに、Elovl6 欠損マウスの作製、解析を行い、このマウスでは脂肪酸組成が鎖長や不飽和度に応じて著しく変化するとともに、食餌性および遺伝性肥満によるインスリン抵抗性が、肥満が持続した状態においても改善されることを明らかにされています (Matsuzaka T et al. Nat Med, 2007)。



筑波大学 内分泌代謝・糖尿病内科
島野仁先生

日時

4月24日(月) 21:00～

会場

オンライン開催 (Zoom)

申込み方法

<https://pf-form.kek.jp/sbrc/gtp-seminar/>

GTP GEEKS ニュース



主催

高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所
構造生物学研究センター
千田俊哉



お問い合わせ

増田：
cmasuda@post.kek.jp